



築地堀と満開のヤマザクラ

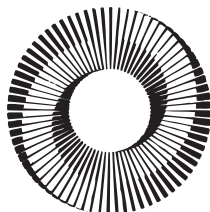
春

♪さくらさくら♪
は何桜

—歌い継がれていくために—

片山 雅男

京都御苑ニュース



自然はわれらを われらは自然を

絶えまない人と自然の連携を象徴するメビウスの連環。これが息の長い活動が期待される自然保護のシンボルマークに表現されています。

発行人

〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地

☎075-211-6364

財団法人 国民公園協会
京都御苑 木村博司

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所

本紙は再生紙を使用しています。

幼い頃、祖母に一冊の童謡の絵本を買った。「ちんから峠」「兎のダンス」「森の小人」。歌詞しか載ってなかったもので、父はレコード探しに奔走した。当時はLP盤で二曲しか録音されていなかったため随分苦労したようだ。これらの曲を耳にすると、その優しい旋律がかすかな記憶とともに父母の慈しみを運んでくれる。知らず知らずのうちに目頭が熱くなってくる。

この中で「村の鍛冶屋」は、今は見られなくなった職業で、歌詞も難解だとして、昭和六十一年の教科書検定で全ての教科書から消えてしまった。習わなくなったため、今の若者たちにとってはなじみがなくなった曲も多い。そんな中で、童謡「さくら」だけは誰もが知っている曲である。♪さくら さくら

やよいの空は見わたす限りかすみか雲か匂いぞ出するいざや いざや見にゆかん♪幕末の江戸で作られたとされる日本特有の陰旋法の曲だが、口ずさむだけで、満開の桜の情景が目に浮かぶ。ソメイヨシノが明治になって全国各地に植栽されたこと、♪野山も里も見渡す限り♪の歌詞とを考え合えると、おそらくこのさくらはヤマザクラであろう。



陽春に咲くヤマザクラ



出水の小川 里桜

季節である。桜の花粉にはエフエドリンが含まれているが、これは交感神経を刺激し興奮を誘発させる物質である。まさに、桜に息吹を吹き込まれているの

だ。御苑には桜がよく似合う。御苑の築地堀、玉砂利に松と桜の織りなす景色は王朝絵巻を彷彿とさせる。植栽された御苑の桜はソメイヨシノや里桜などの園芸品種だと思われがちであるが、意外なことにヤマザクラが多い。ヤマザクラは京都周辺の山に自生しており、淡いピンクの花と同時に赤味を帯びた新葉を開くのが特徴である。そのはんなりとした姿は趣があり、気品すら感じさせる。

桜は神宿る木
ヤマザクラの開花は穀物の種蒔きを始める重要なサインであった。人々は桜の花が長く咲いていれば豊作とし、一日でも長く咲き続けることを祈って花見の宴を行った。サクラの「サ」は田の神をククラは神の依り代をさす。春、山の神は田の神に姿を変え、桜の花に降臨し、秋の収穫を見届けて山へ帰った。農耕儀礼を重要な儀式とした朝廷にとって、ヤマザクラは特別な植物であり、京都御苑にヤマザクラが多く植えられているのも何かの縁であろう。

咲き競う御苑の桜
三月中旬、近衛邸跡の糸桜、早咲きの枝垂れ桜がその優美な姿で御苑の春を告げ、下旬には見頃となる。四月に入るとヤマザクラが一斉に咲き、御苑はまさに桜の苑となる。中



手づくりの額に収まった写真

写真で見る京都御苑
—過去との出会いと新たな発見—

鳥居 万恭

一月十九日(火)から三月一四日(日)まで「写真で見る京都御苑」過去との出会いと新たな発見」を開催しています。御苑管理事務所、協力／宮内庁京都事務所、皇宮警察本部京都護衛署、内閣府迎賓館京都事務所、(財)国民公園協会(京都御苑)昭和九年(一九三四年)九月二十一日に高知県室戸岬近くに大型台風が上陸して西日本を中心に大災害をもたらしました。昭和の三大台風の一つ「室戸台風」です。京都御苑でも倒木、石組土塁の破壊など、苑内のいたるところで被害が出ました。「京都御苑 今昔」のコーナーでは、この被害の記録写真や、拾翠亭庭から眺めた高倉橋、その高倉橋を南から北にむけて撮った写真等、大正から昭和初期にかけての写真、合計十一点が宮内庁京都事務所の協力によりご覧いただけます。幼い頃見た風景を懐かしめる方もいらつしやる事と思います。会場では、同じ角度から撮影した現在の写真も展示し、来館者に時の流れを感じていただけるよう工夫しています。また、皇宮警察コーナーや、迎賓館コーナーも



過去との出会いを誘う写真

句には八重紅枝垂れが満開を迎え、出水の小川や建礼門前の里桜が咲き始める。清所門前の車道桜、出水の小川には薄緑色の御衣黄、八重で濃紅色の関山、雌しべが小さな葉に戻った普賢象、薄桃色の松月、一葉、市原虎の尾などが色とりどりに咲き競う。

童謡「さくら」の命運

近年、「さくら」と題した歌が多く出され、なかでも、森山直太郎さんの曲は卒業式によく歌われている。いい歌なのだが、桜は入学式の頃に咲くものとする世代には、多少なりとも違和感がある。歌の世界でも、徐々に地球温暖化が忍び寄って

写真を選んでいただきたく、投票箱を用意しています。皆様と一緒に、京都御苑の素晴らしさを享受したく思っています。閑院宮邸跡展示室とあわせてご鑑賞ください。

月曜日は休館。入場時間は午前九時から午後四時まで。なお、三月四日(木)、十一日(木)には午後二時より一時間ほど「苑内見どころ案内」を行います。

(財)団法人

国民公園協会

京都御苑

(京都自然観察学習会)

催 事 案 内

■平成22年京都御苑自然教室

一般の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記の通りです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、春の自然を観察しましょう。

春の自然教室 “春の御苑にふれよう”

4月25日（日）9：30～12：00頃

主 催 環境省京都御苑管理事務所 TEL075(211)6348
財国民公園協会 京都御苑 TEL075(211)6364
指 導 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
内 容 春の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

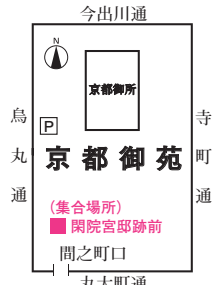
集合場所 京都御苑 閑院宮邸跡前
(京都御苑南西角間之町口)

受付時間 当日 9：00～9：20
参 加 費 無料
そ の 他 筆記用具をご持参下さい。
手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があると便利です。

*以降の自然教室予定

夏の自然教室 “夏の御苑にふれよう”

平成22年7月25日（日）9：30～12：00頃



京都御所春季一般公開

4月7日(水)～4月11日(日)

入場時間 9：00～15：30

入口：宜秋門(ぎしゅうもん)

出口：清所門(せいしょもん)

清所門の最終退出時間は午後4時15分

照会先：宮内庁京都事務所 TEL：075(211)1211

御苑の花暦

和 名	開 花 期	主に見られる場所
ウメ	2月中旬～3月中旬	梅 林
モモ	3月中旬～4月中旬	桃 林
イトザクラ	3月下旬～4月中旬	近衛邸跡周辺
ヤマザクラ	4月初旬～4月中旬	苑内全域
サトザクラ	4月中旬～4月下旬	出水の小川付近

【環境省京都御苑管理事務所よりお知らせ】

人事異動 平成22年2月1日付

環境省京都御苑管理事務所長 関根 達郎

会 員 募 集

財団法人国民公園協会 京都御苑

年会費

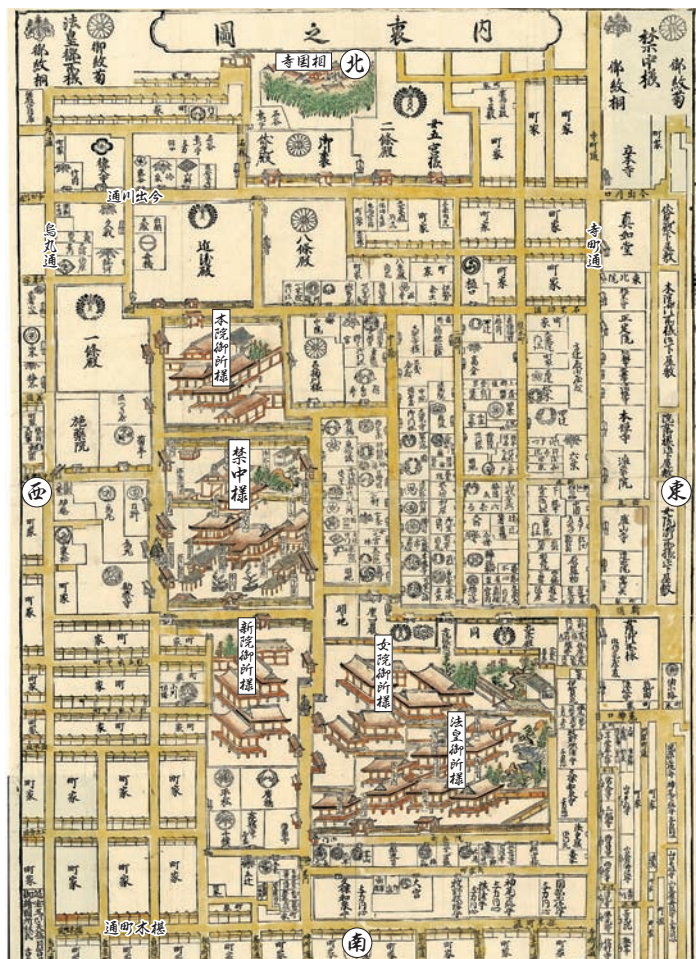
- 普通会員 1,000円以上
- 賛助会員 (会社・団体) 10,000円以上

会 員 へ の 特 典

1. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。
(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)
2. 本会発行物をそのつど送付します。

■申し込み、問い合わせ先

(財)国民公園協会 京都御苑
住所 京都市上京区京都御苑3
〒602-0881 TEL075(211)6364



延宝五年「新改内裏之図」①

を整えたのは、寛文十三年（一六七三）の大火で禁裏とその周辺が焼けたあとのことでした。禁裏御所が再建されるとともに、公家屋敷街が整備されました。それまでは公家屋敷の間に民家があったり、お寺がまじっていたのですが、この時の整備で禁裏御所のまわりに公家屋敷が集まり、その周辺に禁裏御所や公家の世話をする武家の邸宅が配置されました。この時の情景をあらわしたのが延宝五年（一六七七）に出版された「新改内裏之図」【図①】です。この図は出版されたものですが、現在一点しか所在がたしかめられていません。

この図では、公家屋敷は七十軒くらい。いまの京都御苑より狭い範囲が公家町であったことを考えても少ないのですが、そのかわり法皇御所（後水尾上皇御所）、本院御所（明正上皇御所）、新院御所（後西上皇御所）、女院御所（東福門院御所）と、子どもで長生きした後水尾上皇の一族の御所がかなり南端が丸太町通ではなく、一町北の榎木町通だというのが江戸時代

前半の公家町の特徴です。宝永五年（一七〇八）の宝永大火は禁裏御所も焼き払い、その再建とともに、公家町の南端が丸太町通まで下げられ、範囲がいまの京都御苑の範囲とほぼ同じになりました。公家町の拡大です。ただし、寺町通の東や今出川通の北にも公家屋敷は存在

在し、現代のように石垣でちゃんと区切られた区画ではありません。【図②】は広げられた直後の公家町の図です。おおよそにいえば、この範囲がほとんど現在の京都御苑にひきつがれています。京都御苑の景観のルーツは十八世紀はじめだといつてよいでしょう。公家町が拡大したの



宝永六年「内裏の図」②

は、公家の家数がしだいに増えてきたという事情があるようです。江戸時代初めにさまざまな理由で分家や再興されたことで独立した家がつぎつぎにできています。江戸時代を通じてほぼ倍増したと考えてよいでしょう。この増えた家をどうやって禁裏御所のまわりに配置するか、これが公家町の最大の問題です。このように、多様な生物が生息する様子を「生物多様性」という言葉で表現しますが、実は今年（二〇一〇年）はその「生物多様性」にとって極めて重要な年なのです。



御苑の人気者：アオバズク

生物多様性（1） 今年は生物多様性の年 八元 綾

まず、国連では二〇一〇年を「国際生物多様性年」と定めています。地球上の多様な生物とその生息環境保全の認識を高めるため、各国で様々な催しや取組が行われることとなっています。

そして、今年十月には名古屋で「生物多様性条約第十回締約国会議（COP10）」が開催されます。生物多様性条約とは、①生物の多様性の保全、②生物多様性の持続可能な利用、③遺伝資源の公正な分配を目的とした、国境を超えて生物多様性の保全に取り組むための枠組みです。現在一九三の国と地域が加盟しており、地球温暖化防止条約とならび重要な条約です。その条約の第十回目の会合が日本で開催されることは大変意義深いことだと思います。

（京都歴史資料館 担当課長）



春の野草たち（カタバミ、ドクダミ、トウバナ）

「生物多様性」をキーワードに、京都御苑や身近な自然について考える絶好の機会とも言えます。次回は生物多様性の保全の意義と、日本における生物多様性の状況についてもう少し詳しくご紹介したいと思います。（京都御苑管理事務所 普及指導企画官）